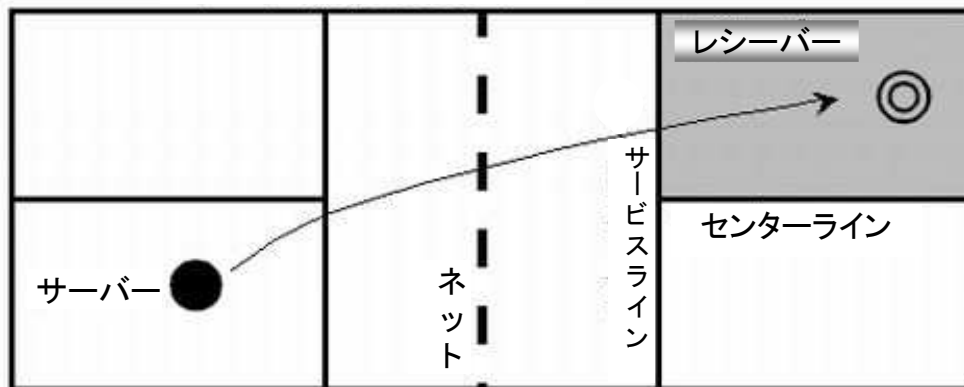


◎ルール

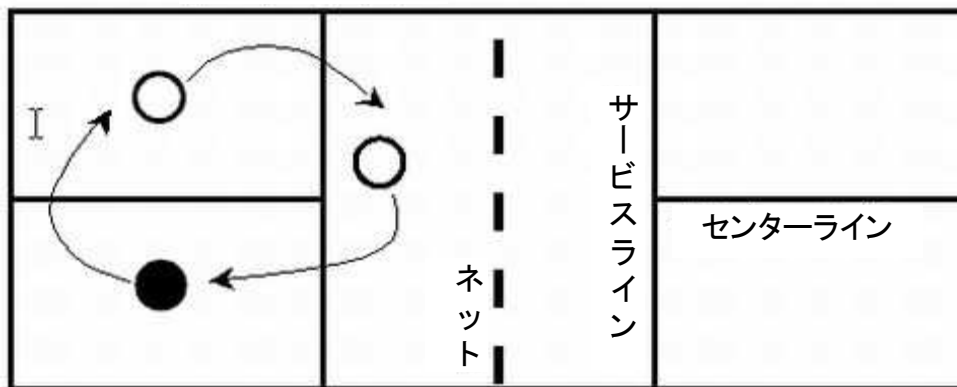
- 1 サービスは必ず下から打ちます。(ボールが腰より下)
- 2 サービスする人は後衛の右側の人です。
- 3 サービスは相手コートに向かって左側でサービスラインを超えなければなりません。
- 4 サービスを受ける人は後衛の右側の人だけです。
- 5 サービスの時、踏み出した足は床から離さないでサービスする。

サービスを入れるところ



- 6 ボールがネットに触れても正しい位置に入ればセーフです。
- 7 相手チームからサービス権が移ってきた時は、時計回りに一つ位置が変わります。
[ローテーション](後衛の右側に来た人がサービスする。)
- 8 後衛の人は、サービスラインより前で打つこと(プレー)は出来ません。

ローテーション



- 9 前衛の人は、コート内を自由に動けます。(オールコート)
- 10 ボールは2回以内で相手コートへ返す。(ボールに触れるのは一人1回です。)
- 11 ボールは必ずネットを越えること。
- 12 打ち合っている内に(ラリー)ボールを打った瞬間、打点よりボールが下がった時はアウトになります。
- 13 チェンジコートは各セットが終わった時に行います。ただし、3セット目は一方のチームが8点になった時に行います。

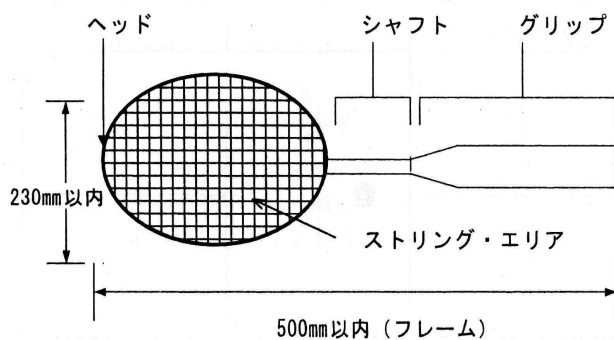
◎反 則 (相手チームに1点)

- 1 フットフォルト ⇨ サーブの時、踏み出した足が床から離れた時。
- 2 サービスが腰から下で打たれなかった時。
- 3 サービスする順番が違った時。(1回目注意)
- 4 ラインクロス ⇨ サーバーがラインを踏むか、または超えてサービスした時。
後衛がサービスラインを踏むか、または超えてボールを打った時。
- 5 オーバーネット ⇨ ラケットがネットを越えて相手コート内に入った時。
- 6 タッチネット ⇨ ラケット及び体がネットに触れた時。
- 7 ドリブル ⇨ 一人で連続してボールを打った時。
- 8 ホールディング ⇨ ボールをラケットに乗せて運んだ時。
- 9 オーバータイムス ⇨ ボールの返球が3回以上になった時。(返球は2回以内)
- 10 相手コート内に体の一部が入った時。
- 11 ラケットでボールが打たれなかった時。

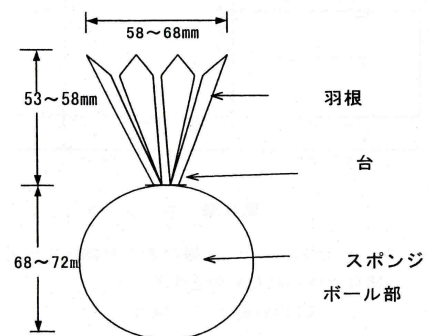
1回目は、注意。2回目以降は相手の得点。チームで

◎特 徴

- 1 本来のバドミントンと比べて、コート内で3名のため、初めての人でも容易にボールを打つことができる。
- 2 ラケットのシャフトが短いため、手のひらで打つ感覚でボールを打てる。
- 3 スポンジボールにバドミンントンの羽根をつけているため、スピードが抑えられ、初心者でもラリーが続く。また、下向けにボールを打つことが禁止されています。



● ラケット



● シヤトル